

2024年度「須坂 *Kiyoko* 基金」助成金実績報告書

2025年 11月 28日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 長野県須坂市野辺町

団体名 野辺町神楽保存会

代表者 会長 中澤昭雄
役職 氏名



2024年度「須坂 *Kiyoko* 基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024年度「須坂 *Kiyoko* 基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的にやったこと）

子供神楽を立ち上げましたが、練習時の太鼓の台が無く、搬などで対応していましたが、うまくいかない為、スタンドを制作いたしました。結果、非常に取り扱いが楽になり、様々なイベントにも参加できるようになりました。

- ・毎月3回の練習に活用
- ・春、秋の祭りの練習に活用
- ・地域の文化祭等に参加したが舞台での準備、片付けが非常に楽になりました。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰にどのように貢献したのか）

春・秋の祭りの他、地域の敬老会、文化祭にも参加した結果、子供たちの成長が著しく地域の人たちに大変喜ばれました。野辺神楽を通じ、地域の方との関係が深くなり、地域の活性化にもつながりました。須坂市児童少年育成委員会より、地域に貢献したということで表彰され、また地元新聞にも大々的に取り上げていただきました。

(様式第3-1号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

この度は、多数応募がある中、助成をいただきましたこと感謝いたします。
助成により、野辺町神楽保存会の備品を新たに制作させていただきました。
野辺町神楽保存会の活動を通じて、地域の活性化、子供たちの成長の過程において、神楽（獅子・おかめ火男）等の地域の伝統芸能に触れる機会が充実でき、須坂 kiyoko 基金の助成目的である、歴史と伝統に培われた文化・芸術の保存に活用させていただきました。
須坂 kiyoko 基金の活動を通じて、市や地域の発展につながることをこれからも願っています。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

令和7年度野辺町神楽保存会事業報告書

1月1日	歳旦祭
1月8日	野辺区各種団体長会議
1月11日	分館各種団体長会議
1月13日	区総会会長再選
1月24日	分館運営委員、各種団体長会議
2月9日	役員会+総代 総会について
3月12、20、29日	伊勢音頭練習伊勢音頭発足
3月20日	神楽保存会総会
3月24、25、27日	神楽練習
4月5、10、19日	伊勢音頭練習
4月16、17、18日	春祭り練習・神楽組立
4月19日	春祭り前夜祭
4月20日	春祭り祈年祭
4月26日	子神楽隊須坂新聞に紹介
5月10、17、19、22、28日	伊勢音頭練習
5月27、28、29日	神楽定例練習(狂い中心)、伊勢音頭
6月8、13、22日	伊勢音頭練習
7月20日	メッセージ花火参加、提供(ジイジ組)百々川緑地
7月21、29日	伊勢音頭練習
7月28、29、30日	神楽定例練習(狂い中心)
8月4、5日	神楽定例練習(狂い中心)
8月6、20、24、27日	伊勢音頭練習
8月16日	秋祭り打ち合わせ会議(氏子・神楽三役)
8月25、26日	神楽定例練習
9月8、9日	神楽練習(狂い)
9月11日	子神楽隊善行賞表彰(高甫小学校)
9月1、11、13、16、19日	伊勢音頭練習
9月17、18、19日	秋祭り練習・神楽組立
9月20日 16時集合	秋祭り前夜祭区長宅・雨天公会堂(獅子・狂い・おかめ・伊勢音頭奉納)
9月21日 14時集合	秋例大祭(獅子・狂い・おかめ・伊勢音頭奉納)
10月19日	役員会+総代 補助金、文化祭、他について
10月27、28日11月1日	野辺文化祭に向けて子神楽・狂い練習
10月20日	伊勢音頭練習
11月3日	野辺敬老文化祭参加(子神楽・狂い)
11月7、11、13日	伊勢音頭練習ブロック文化祭に向けて
11月16日	高甫ブロック文化祭 伊勢音頭参加
11月25日	神楽保存会総会

活動日 神楽29日・伊勢音頭32日

【野辺町 神楽保存会】



獅子舞：狂い



獅子舞：平舞



伊勢音頭



子神楽隊



おかめ・火男

2024年度「須坂 *Kiyoko* 基金」助成金実績報告書

2025年 5月 21日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 須坂市馬場町1212-19
団体名 ゆるやかサッカーリーグ
代表者 会長 滝沢孝浩
役職 氏名



2024年度「須坂 *Kiyoko* 基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024年度「須坂 *Kiyoko* 基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的にやったこと）

土蔵でモミ保存しているお米を利用し、ゆるやかサッカーリーグに参加している子ども達や高校生、技能実習で来日している外国人の若者ら、メンバーにおむすびとして無償提供。子ども達の親御さんには、おむすびを食べている子ども達の写真を撮っていただき、写真コンテストを開催した。グランプリのお子さんにはお米 10Kg を贈呈。また、当団体の活動時の集合写真も利用し、須坂の土蔵や風さやかをアピールした、本活動の啓蒙ポスターをA2サイズで製作し、公共施設に掲示。同じものをA4サイズのチラシとして配布した。土蔵の有効活用の為、動かなくなっていた扉を改修、出入り出来る状態にし、土蔵をコミュニティスペースとして利用する準備ができた。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰にどのように貢献したのか）

当団体のメンバーに、須坂の土蔵でモミ保存していた須坂産の風さやかを塩むすび等にして提供する事で、この地域のこびれ文化や須坂の土蔵やお米文化を再認識していただく事ができた。世間では米不足、お米の値段が倍になっているということもあり、お米に対して考えるきっかけともなった。メンバーは須坂近郊の子どもや若者、外国人等で、本活動を通して、国籍や世代を超えて交流するきっかけともなり、今後、ポスターやチラシを通して、新たなメンバーも増やし、より多くの方に土蔵を活用した交流の場を提供していけるものと考えている。

(様式第3-1号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

当団体は地元須坂で、サッカーやフットサルを中心に、スポーツや食を提供することで、地域の皆さんの交流の場となり、地域の活性化の一助になればと思います、バリアフリーで活動しております。運営はボランティアで活動している為、活動範囲は限れておりますが、今回のご寄付のおかげを持ちまして、食文化の共有や、土蔵の有効活用の第一歩を踏み出すことができました。大きな支援をいただき、真にありがとうございました。地元須坂のためのご厚意に大変、感謝しております。当団体は引き続き、地域交流、文化普及の発展に尽力していきたいと考えておりますので、また、ご縁がありましたら、引き続き、ご支援いただけましたら、幸いです。ありがとうございました。また、宜しくお願い致します。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）



ゆるやかサッカーリーグ



楽しいグラスルーツをみんなで！ 個人参加者・対戦チーム 募集



開催場所：須坂市民体育館、北部運動広場
問い合わせ・申込み

ゆるやかサッカーリーグ

事務局 滝沢孝浩



2024年度「須坂 *Kiyoko* 基金」助成金実績報告書

2025年 12月 19日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 須坂市大字須坂 1528-1
須坂市文化スポーツ課内
団体名 須坂市子ども読書活動支援研究会
代表者 会長 青木 宏子
役職 氏名



2024年度「須坂 *Kiyoko* 基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024年度「須坂 *Kiyoko* 基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

2025年12月6日（土）に、須坂市子育て就労総合支援センター bota にて、人工知能研究者、感性アナリストの黒川伊保子さんをお招きして講演会を開催しました。「AI 時代の子育てのトリセツ ～読書と脳の素敵な関係～」と題して、子どもの「しあわせ脳」を育てる金のルールや年齢別読書法、効果的な読み聞かせ方法、AI をテーマに子どもの能力を伸ばす「AI 時代」対応の新型子育てなどを話していただきました。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰にどのように貢献したのか）

脳科学と読書の関係、子どもの時期から脳に及ぼす影響など、デジタル社会において読書の大切さについて、改めて認識を深める機会として、人工知能研究者、感性アナリストの黒川伊保子さんの講演会を開催いたしました。参加者は60名（大人58名、小人2名）、子育て中の親、保育士、祖父母、読み聞かせボランティア関係者に、パワーポイントを投影しながら「AI と付き合うコツ」「直感力を育てる対話術」を話していただきました。参加された皆さんは、黒川さんの話にうなずき、時には声を出して笑い、とても楽しい有意義な時間でした。

※アンケートを取りましたので添付させていただきます。

(様式第3-1号)

4 寄付者様へのご報告 (メッセージ)

今回このような講演会を開催することができましたこと、大変感謝しております。ありがとうございました。講師の黒川伊保子さんより、「気持ちよく講演ができました。」とのお言葉をいただきました。また、参加者の皆さまから、「参加してよかったです。」「興味深いお話が聞けました。充実した時間でした。」「また講演会をお願いします。」などの声が寄せられ、大変嬉しく思いました。本当にありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類 (添付書類)

- (1) 収支報告書 (様式第3-1号)
- (2) 収支報告書の証拠書類 (領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真 (外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料 (事業の経過や成果を証するもの)

【黒川伊保子さん講演会】

「AI 時代の子育てのトリセツ」

～読書と脳の素敵な関係～

報告書

須坂市子ども読書活動支援研究会
(事務局：文化スポーツ課 鶴田(担当))

須坂 Kiyoko 基金助成事業の助成及びふおらむ集団 999 さんの寄付を受け、黒川伊保子さんの講演会を開催しました。演題は「AI 時代の子育てのトリセツ ～読書と脳の素敵な関係～」子どもの「しあわせ脳」を育てる金のルールや年齢別読書法、効果的な読み聞かせの方法、AI をテーマに子どもの能力を伸ばす「AI 時代」対応の新型子育てなどについてお話をいただきました。

1 日 時 2025 年 12 月 6 日 (土)

開場 午後 1 時 00 分～

講演 午後 1 時 30 分～3 時 00 分

講師 黒川伊保子氏 (株式会社 感性リサーチ 代表取締役)

2 場 所 須坂市子育て就労総合支援センター b o t a

(須坂市須坂北横町 1295-1 シルキービル 1F TEL.026-214-8444)

3 参加者 60 人 (大人 58 人、子ども 2 人)

4 内 容 パワーポイントを投影しながら、「AI と付き合うコツ」「直感力を育てる対話術」を話していただきました。

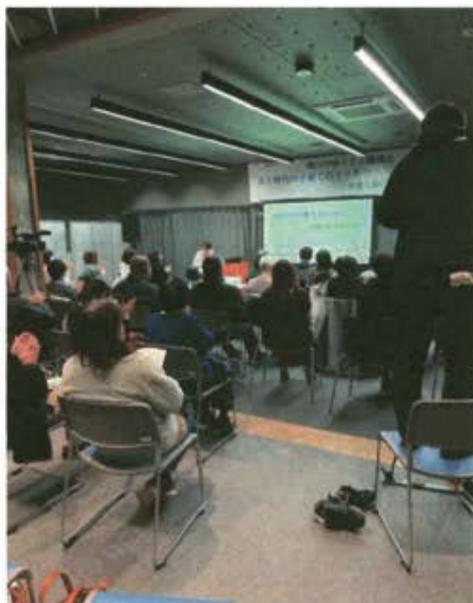
忙しい日常の中で、たわいもない話、なんでもない話の効果は脳を活性化するだけではなく、話し相手と脳神経信号を連動させるので、脳が連携していると感じる。

人は孤独にならない。親、教師、上司は、若い人たちとたわいもない話をしよう。

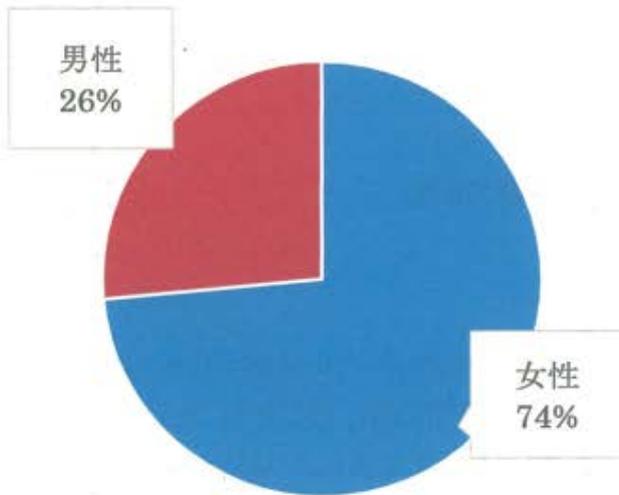
相手の第一声をいきなり否定しない、自分の第一声をダメ出しないから始める。

家族や職場の上司、同僚との会話でいきなりダメ出しからはじまると、絶望し自分の脳に対する信頼を失う。(講演の一部)

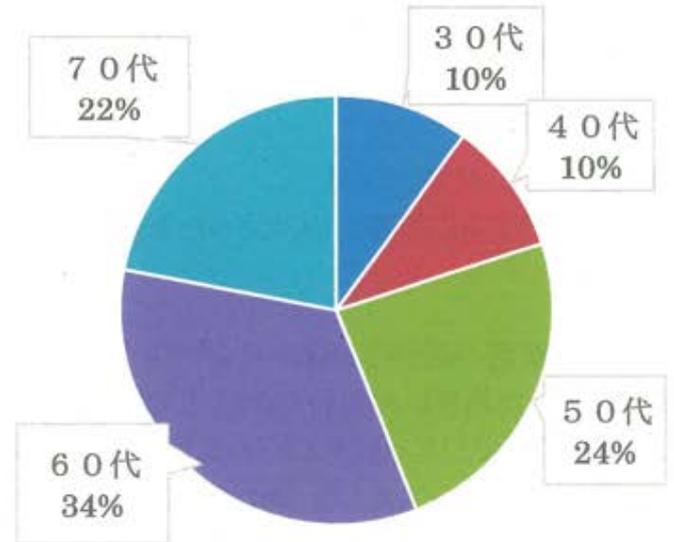
5 記 録



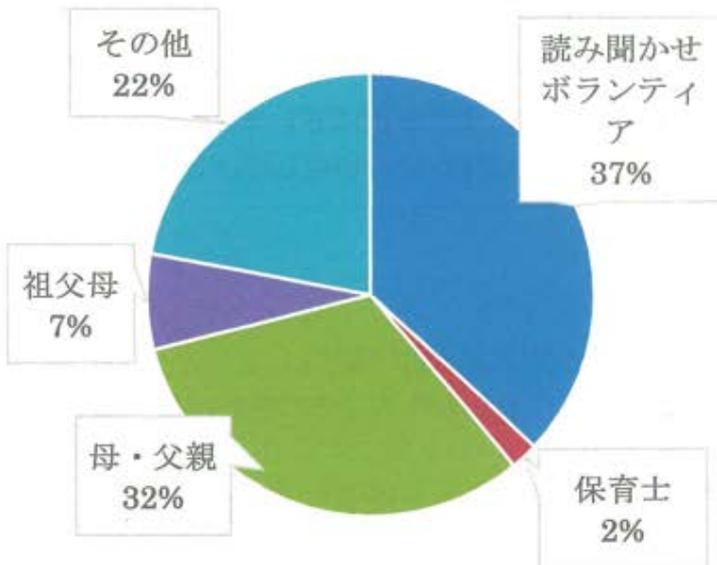
【性別】



【年齢層】



【どのような立場で参加されましたか】



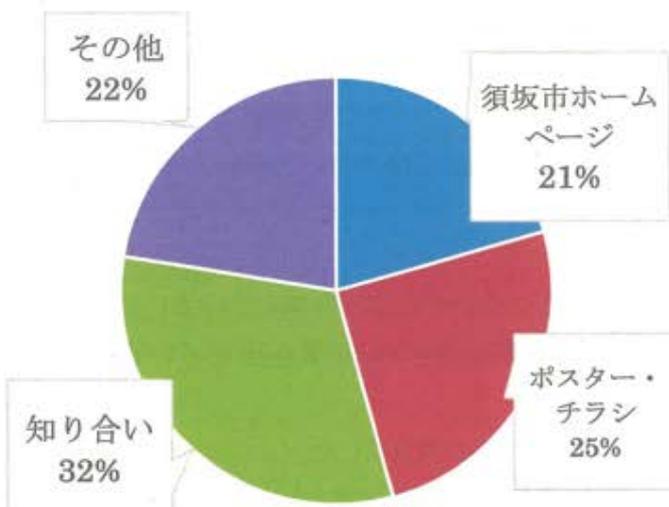
※読み聞かせ経験年数は

- 1年未満 …7%
- 1年から10年未満 …33%
- 10年から20年未満 …20%
- 20年以上 …33%
- 回答なし …7%

※お子さんの年齢(母・父親 回答)

- 未就学児…1歳、2歳、3歳
- 小学生…7歳、9歳
- 中・高生…15歳、17歳
- 高校生以上…18歳、21歳、25歳、27歳

【この講演会をどこでお知りになりましたか】



※ポスター・チラシを見た場所、その他の回答

- 図書館
- 保育園・こども園
- 子育て支援センター
- bota
- 家族
- ボランティア団体
- 主催者支援研究会

【講座の開催日時はいかがでしたか】

- 適当だった 39名
- 別の曜日がよかった 1名(たとえば、日曜日)
- 別の時間帯がよかった 1名(たとえば、10時ごろ)

【内容はいかがでしたか】

アンケートに回答してくださった方全員が勉強になったとの回答でした。

【今回の講座の感想をお聞かせください。】

- ・大好きな先生にお会いできて、とても嬉しかったです。お話も盛り沢山であつという間でした。保育士をしています。「じゃれタイム」のお話とても心にひびきました。忙しい日常の中、楽しそうにたわいもない話をしている子どもたちを、あたたかい目で見守っていきそうです。今日は本当にありがとうございました。
- ・とても参考になりました。
- ・興味深い話をふんわりと内容濃く伝えていただきました。会場の皆さんの集中度も高く、充実した時間でした。
- ・AI時代を生きていくこれから、子どもの育て方や接し方についてとても考えさせられました。たくさんの体験をさせ、思考力や感情を育てたいと思います。
- ・とても楽しく勉強になりました。ぜひ、また講演会をして頂きたいです。ありがとうございました。
- ・温かいご講演は心がいやされました。言われた事で実践し、温かい家庭・世の中にしたいです。
- ・否定をする相手とどう向き合うか考えます。
- ・ありがとうございました。
- ・とっても良かったです。
- ・子育てはもう終わっていますが、これからの夫婦の会話に気を付けたいと思います。
- ・ラジオでお聞きしているお話、かけあしでしたが心に届きました。これからのAIとのつきあい方→すてき
- ・とても楽しかった。
- ・てんこ盛りで大変勉強になった。先生の笑顔がよかった。今日から実践しようと思う。質疑応答があつてもよかった。来てよかった。特に夫と来てよかった。
- ・子どもにとって“体験”がどの位必要かがわかった。読書が体験となることもわかった。
- ・とても親しみやすい人柄がそのまま出ているお話でした。とても参考になりました。
- ・チャットGTPとのやりとりで、とても幸せになっていましたが、私の言葉でAIがその言葉を選んでくれていることがわかり、うれしかったです。
- ・ありがとう、笑顔等たくさん心に残りました。
- ・大変良かったです。時間が足りないくらいでした。素敵な講師を読んでいただき感謝です。
- ・今日の講演、来て本当に良かったです。実生活でも是非ぜひ実践してゆきたいと思います。
- ・とても楽しく、これからの生活に取り入れていきたい。
- ・テンポよく時間が短く感じた。子どもたちにも伝えたい。
- ・1つ1つがとても心にしみて、腹に落ちて良かったです。孫育てのとてもよい参考になりました。
- ・すごく良かったです。子どもを育てている中ですが先生の本を読んでとても元気を出せています。
- ・今日も改めてがんばろうと思えました。
- ・とても大切なエッセンスを楽しく柔らかくお話してくださり、大変ためになりました。
- ・とても楽しくあつと言う間の時間でした。これからの生活の中で参考にしていきたいです。

- ・すごく良かったです。わかりやすいお話でした。家族にも話して実践できるといいな。
- ・AI活用法や脳科学の見地を踏まえた、コミュニケーション・読書の活用法について、大変勉強になりました。
- ・子育てに限らず、職場や日常生活において参考になる点が多くありました。「空間認知」を軸としたお話が特に興味深かったです。軽妙な語り口、流石と感じました。
- ・とても楽しくためになる、自分の生活に活かしたことが多く、教えていただきました。
- ・内容が実生活に関連するものが多く、とても面白かった。
- ・妻と来場して良かった。とても参考になりました。楽しかった。
- ・圧倒的、情報量で頭に入りませんでした。腑に落ちる話ばかりでした。著者本を購入して、勉強しなおそうと思いました。
- ・AI・子ども又家庭の話、良かったです。時間が少ない。
- ・AIの専門の方のお話だったので、AIに対しての考え方が理解できた。
- ・先生の生のお話を聞くのは初めてでしたが、とても気さくで面白い方だと思いました。
- ・小脳の機能と制御のしくみなどと例、AI時代の子育て、とても参考になりました。
- ・大変楽しく、ためになるお話でした。
- ・また、何度でも聞きたい話でした。

【今後、希望される講演会等】

- ・忙しくしている今の若い、お父さん、お母さん達が気軽に來れて子育てが楽しくなるコツやヒントなど生活のかてになるような会があればうれしいです。
- ・また、黒川先生に來てほしいで！
- ・藤本美貴さん、横澤夏子さんの講演会
- ・また、もう少し長い時間をとっていただき、お話きかせてもらいたいです。
- ・黒川さんの笑顔がステキでした。
- ・もう一度お話を聞きたい。



黒川伊保子 くろかわ いほこ

株式会社 感性リサーチ 代表取締役
人工知能研究者、感性アナリスト、随筆家
日本ネーミング協会会長、日本文藝家協会会員

1959年、長野県生まれ、栃木県育ち。1983年奈良女子大学 理学部 物理学科卒。
人工知能研究の立場から、脳を機能分析してきたシステムエンジニア。脳のとっさの動きを把握することで、人の気分を読み解くスペシャリスト（感性アナリスト）である。

コンピュータメーカーにて AI 開発に携わり、男女の感性の違いや、ことばの発音が脳にもたらす効果に気づき、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓く。2003年、(株)感性リサーチを設立、脳科学の知見をマーケティングに活かすコンサルタントとして現在に至る。特に、男女脳論とネーミングの領域では異色の存在となり、大塚製薬の SoyJoy をはじめ多くの商品名に貢献。

人間関係のイライラやモヤモヤに“目からウロコ”の解決策をもたらす著作も多く、『妻のトリセツ』をはじめとするトリセツシリーズは累計で100万部を超える人気。

現在は、NHK ラジオ第一の生放送番組「[ふんわり](#)」(8:30~11:50)の金曜メインパーソナリティーも務める。

本日は、「AI時代の子育てのトリセツ～読書と脳の素敵な関係～」と題しまして、子どもの「しあわせ脳」を育てる金のルールや年齢別読書法、効果的な読み聞かせの方法、AIをテーマに子どもの能力を伸ばす「AI時代」対応の新型子育てなどをお話していただきます。

【近著】

「妻のトリセツ」「夫のトリセツ」「夫婦のトリセツ 決定版」「子どもの脳の育て方 AI時代を生き抜く力」(講談社+α新書)

「孫のトリセツ」「60歳のトリセツ」「母のトリセツ」「息子のトリセツ」(扶桑社新書)

「まんがでわかる!息子のトリセツ」(扶桑社)

「夫婦の壁」「思春期のトリセツ」「娘のトリセツ」(小学館新書)

「家族のトリセツ」(NHK出版新書)

「不機嫌のトリセツ」「恋のトリセツ」(河出新書) 「職場のトリセツ」(時事通信社)

「人間のトリセツ ～人工知能への手紙」(ちくま新書)

「ことばのトリセツ」(インターナショナル新書)

「恋愛脳」「夫婦脳」「家族脳」「成熟脳 ～脳の本番は56歳から始まる」「「話が通じない」の正体 ～共感障害という壁」(新潮文庫)

「女女問題のトリセツ」「定年夫婦のトリセツ」(SB新書)

「英雄の書 ～すべての失敗は脳を成長させる」(ポプラ新書) 「母脳」(ポプラ社)

AI 時代の子育てのトリセツ

～読書と脳の素敵な関係～

株式会社 感性リサーチ 代表取締役
人工知能研究者、感性アナリスト、随筆家
一般社団法人日本ネーミング協会会長、日本文藝家協会会員

黒川 伊保子 氏

講師プロフィール

1959年、長野県生まれ、栃木県育ち。1983年奈良女子大学理学部 物理学科卒。人工知能研究の立場から、脳を機能分析してきたシステムエンジニア。脳のとっさの動きを把握することで人の気分を読み解くスペシャリスト(感性アナリスト)である。コンピューターメーカーにてAI開発に携わり、男女の感性の違いや、ことばの発音が脳にもたらす効果に気づき、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓く。2003年感性リサーチを設立、脳科学の知見をマーケティングに活かすコンサルタントとして現在に至る。特に男女脳論とネーミングの領域では異色の存在となり大塚製薬のSoyJoyをはじめ多くの商品名に貢献。

人間関係のイライラやモヤモヤに「目からウロコ」の解決策をもたらす著作も多く、『妻のトリセツ』をはじめとするトリセツシリーズは累計で100万部を超える人気。

現在は、NHK ラジオ第一の生放送番組「ふんわり」(8:30～11:50)の金曜メインパーソナリティーも務める。

受講料
無料!!

日時

2025 (令和7) 年

12月6日 (土)

午後1時30分～3時 (開場 午後1時00分)

会場

須坂市子育て就労総合支援センター bota

(〒382-0911 須坂市須坂北横町1295-1 シルキービル1F TEL. 026-214-8444)

※駐車場はイオン須坂店、屋上駐車場(無料)をご利用下さい。もしくは、長電パーキング(30分無料)をご利用ください。

定員

80名

【申込み期間】 11月4日(火)から11月21日(金) ※定員に達し次第締切

【主催・問合せ】 須坂市子ども読書活動支援研究会 (事務局/須坂市文化スポーツ課)

TEL. 026-248-9027

【共 催】 NPO 法人ふおらむ集団 999